

みどりかがやく

目指せ文武両道！

体育館の南西にあるヤマブキがたくさんの花を付けました。ヤマブキの花は一重のものもありますが、八重のものが一般的のようです。この花は川越市の花であり、太田道灌とゆかりの深い花でもあります。

道灌は父、太田道真とともに川越城を築城したとされています。川越城は室町時代の1457年、上杉氏に命じられ築城した平山城です。1848年に建てられた本丸御殿の一部は現存しています。周囲を赤間川、入間川、越辺川で覆われ、それぞれの川が外堀の役目を果たしたため、防衛の面では優れていますが、湿地帯に城を築くことになり、その築城は困難をきわめたとされています。その困難を乗り越えた太田道灌とヤマブキにまつわる話を紹介します。

道灌が鷹狩りに出かけた際に、突然雨が降り出しました。道灌は村の娘に簞（みの：雨具）を貸してもらいたいと頼んだところ、娘はヤマブキの枝を差し出しました。道灌は意味が分からずに腹立たしく思いながら帰りましたが、後日、後拾遺和歌集の兼明親王の歌に

「七重八重 花は咲けども 山吹の 実の（簞） 一つだに 無きぞ悲しき」というものがあることを家臣から知らされます。村の娘は、「我が家は貧しくて お貸しできる簞は一つもありません」と言うことを伝えたかったと分かりました。道灌は自分が古歌を知らなかったことを恥じ、歌道に励み、歌人としても名高くなり、文武両道の武将になったということです。

新学期が始まり、3週間が経ちました。昨日は1年生の部活動本入部となり、本日は部活動保護者会となっています。学校は教科の学習をするところではありますが、人間関係を学ぶ場所でもあります。部活動を通して、自分が興味をもっていることの技能を高めると共に、他学年の生徒との望ましい人間関係を学んでほしいと思います。

そして、太田道灌のように文武両道を目指し、充実した中学校生活を送ってほしいと願っています。



体育館の南西にヤマブキの花がたくさん咲いています。八重と並んで一重のヤマブキも咲いています。